

アドビシステムズ社、 Adobe Flex のオープンソース化を発表

**Flex フレームワークを拡張、強化することにより、
より多くのデベロッパにリッチインターネットアプリケーションの可能性を提供**

【2007年4月27日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発 (2007年4月26日) Adobe Systems Incorporated (NASDAQ: ADBE、本社: 米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社) は本日、Adobe® Flex™のソースコードをオープンソース化して公開する計画を発表しました。この計画により、世界中のデベロッパは、クロスプラットフォーム環境に対応したリッチインターネットアプリケーション (RIA) を企業内や Web 上に構築できる業界最先端のフレームワークの発展に参加できるようになります。新しくオープンソース化される Adobe Flex SDK と各種技術資料は、Mozilla Public License (MPL) に基づいて提供されます。

2006年6月から無償で提供が開始されている Adobe Flex SDK は、人気の高い Flex フレームワークを構成する MXML™コンパイラと ActionScript™ 3.0 ライブラリなど、デベロッパが効果的な Flex アプリケーションを作成するために必要なテクノロジーが含まれています。これらを併用することで、世界中に広く普及した Adobe Flash® Player 上で展開が可能な RIA の開発に向け、BMC Software、eBay、salesforce.com、Scrapblog や Sumsung などの先進企業が使用する近代的な規格ベースの言語とプログラミングモデルが利用できるようになります。

Alfresco 社の CTO、ジョン ニュートン (John Newton) 氏は「オープンソースは Alfresco の成長において中心的な役割を果たしてきました。アドビシステムズ社が Flex テクノロジーのオープンソース化を決めたことを嬉しく思います。当社は Flex SDK で実現される企業向けのコンテンツ管理機能の使いやすさに非常に高い関心を寄せており、今回のアドビシステムズ社の決断によってその魅力はさらに高まりました」と述べています。

今回の発表は、アドビシステムズ社によるオープンテクノロジーへの取り組みをさらに拡大するものです。この取り組みには Tamarin プロジェクトに基づいて行なわれた、Mozilla Foundation に対する ActionScript Virtual Machine のソースコード提供、「Apollo」プロジェクトにおけるオープンソース WebKit エンジンの使用、および ISO 標準化に向け、PDF の最新規格である PDF 1.7 の譲渡が含まれています。Adobe Flex のソースコードをオープンソースとしてデベロッパに公開することにより、アドビシステムズ社は、世界中のデベロッパコミュニティとのコラボレーションをさらに推進するとともに、他のオープンソースプロジェクトが Flex フレームワークの強力な機能を最大限に活用することを可能にします。

RedMonk 社の創業者であるジェームズ ガバナー (James Governor) 氏は「オープンソースの共同開発は、開発コミュニティの構築において非常に効果的な手段です。Adobe Flex SDK のオープンソース化というアドビシステムズ社の決断は、新しいデベロッパを Flex プラットフォームに引き寄せる画期的な展開になるでしょう」と述べています。

Adobe Flex のオープンソース化を MPL で行なうことにより、全てのソースコードが無償で利用できるようになります。デベロッパは Flex コンパイラ、コンポーネント、およびアプリケーションフレームワークのソースコードを自由にダウンロード、拡張、またそれらを提供することが可能になります。アドビ システムズ社は、従来までの流通チャネルを経由した Adobe Flex SDK と、その他 Adobe Flex 製品の提供も継続し、新規および既存のパートナーやお客様のニーズに最も適したライセンス条件を提供します。

アドビ システムズ社のエンタープライズ アンド デベロッパ ソリューション事業部担当のシニア バイスプレジデントであるデビッド メンデルス (David Mendels) は、「Flex の進化は、当初から驚くべき才能を有するアドビ システムズ社のデベロッパコミュニティからの影響を受けてきました。Flex をオープンソース化するという決断は、Flex が進むべき次のステップとして極めて自然なものでした。Flex によってデベロッパコミュニティと緊密な関係を構築し、その勢いと革新的技術をさらに拡大できることを非常に嬉しく思います」と述べています。

Adobe Flex のオープンソースライセンス供与は、Flex テクノロジーの開発にコミュニティの参画を求めるアドビ システムズ社の活動の一環として行われます。2007 年夏に発表予定の次期 Flex 製品群 (コードネーム「Moxie」) のプレリリース版を皮切りに、アドビ システムズ社は、公開バグデータベース付きのダウンロードサイトで、Flex SDK を日々更新していきます。MPL に基づいて提供されるオープンソース版 Flex は、2007 年後半に予定されている Moxie の最終版提供時期と合わせて行なわれる予定です。

MPL の条件の詳細、およびオープンソース Flex イニシアティブへの参加方法については <http://www.adobe.com/go/opensourceflex> をご覧ください。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーのアイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。